

JICAの基礎教育分野の協力

重点課題、プロジェクト、協力隊との連携

2008年度青年海外協力隊現職教員特別研修
2008.4.7

独立行政法人国際協力機構
人間開発部基礎教育第1課
原智佐

ポイント

- 基礎教育分野の協力の重点課題と協力事例
- 協力隊と技術協力プロジェクトの連携事例

基礎教育協力の重点課題

- 就学率向上
- 教育の質の向上
- 教育マネジメント改善
- ジェンダー格差の是正
- ノンフォーマル教育の拡充

課題別指針「基礎教育」平成17年5月、JICA

<http://gwwweb.jica.go.jp/km/FSubject0101.nsf/fb3f33f4fe596c6149256b91001bf56c/a43ee3d1bbffb48b492570f2003d0972?OpenDocument>

就学率向上

- 2015年までにすべての子どもに無償で良質な初等教育を保障
(Education for All ダカール行動枠組み)
- 子供、家庭、コミュニティと学校の物理的距離(ハード面)と社会的・心理的距離(ソフト面)の改善の双方が重要



JICAの取組み

(ハード面)

- 1990年代半ば～、無償資金協力による小中学校建設(既存校の増改築を含む)
- スクールマッピング

(ソフト面)

- 教員の養成・確保
 - 教材の整備・配布
 - 家庭やコミュニティの理解促進
 - 行政や学校からコミュニティへの働きかけ
-
- ノンフォーマル教育等も就学率向上には重要

教育の質の向上

ー背景と取組みー

背景

- 教師中心から児童中心へ
- 暗記中心から考える授業へ

JICAの取組み

- 理数科教育を中心とした教授法の改善
- 教材や指導書の開発
- (カリキュラム、教科書の改善)
- 現職教員研修(in-service training)
- 教員養成(pre-service training)
- 授業研究の普及

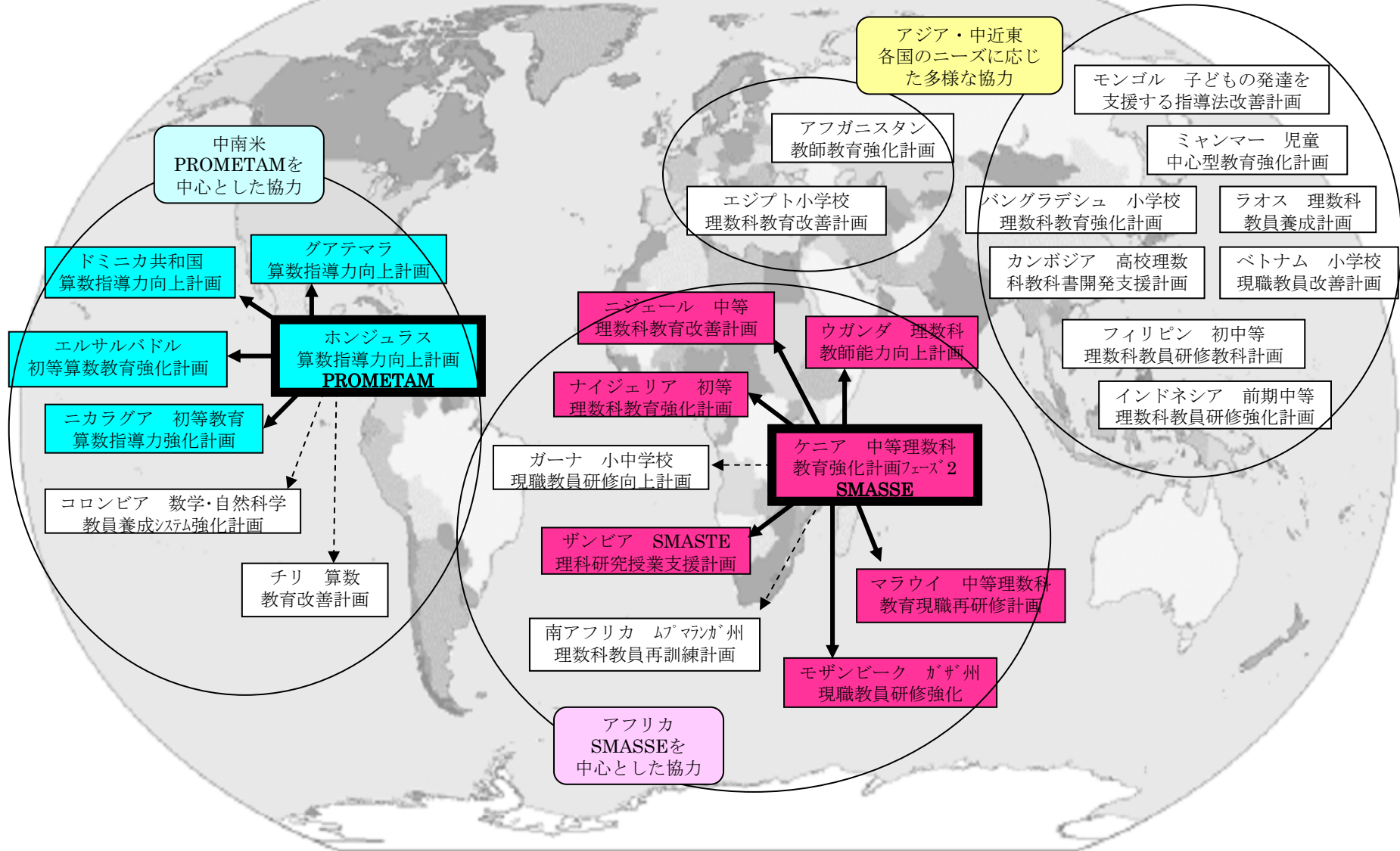
等

教育の質の向上

—理数科教育がなぜ重視されたか—

- 日本の理数科教育に対する評価
- 価値中立的
- ことばの壁が低い
- 科学的、論理的思考力の向上の重要性
- 教授法改善を行いやすい教科（特に理科における実験観察）
- 経済発展の基礎

理数科教育改善プロジェクトの展開



理数科教育協カプロジェクトの事例
ケニア中等理数科教育強化計画プロジェクト1, 2
(1998-03、03-08)

(目的)

- 現職教員研修を通じた中等教育レベルの理数科教育の強化

(協力内容)

- 学校現場の調査に基づく研修内容の策定
- ディストリクト・トレーナーの研修(年間約1000人)
- ディストリクト・トレーナーによる現職教員研修(年間約16000人)
- ケニア側の人員・予算の投入により全国を対象の実施

理数科教育協カプロジェクトの事例

ケニア中等理数科教育強化計画プロジェクト1, 2

成果

- INSETのシステム構築
- 理数科教育の質的向上(特に授業法の改善)
- アフリカ諸国が理数科教育において共通の問題を抱えていることを確認し、周辺国との協力を開始した。

理数科教育協カプロジェクトの事例
ケニア中等理数科教育強化計画プロジェクト2
(2003-2008)
(フェーズⅡにおける広域協力の展開)

- ケニアにおける第三国研修の実施
- アフリカ6カ国でSMASSEと連携したプロジェクトが開始される。
マラウイ、ウガンダ、ナイジェリア、ザンビア、モザンビーク、ニジェール
- 域内会合の開催
情報の共有化、情報ネットワークの構築

教育行政、学校運営に関するマネジメント －背景と取組み－

背景

- 教育の地方分権化
- School-based management
- 教育への住民参加

取組み

- 提案型小規模教育改善事業
- 学校運営委員会
- 地方教育行政官、学校管理者のキャパシティデベ
ロップメント
- スクールマッピング、マイクロプランニング

教育行政、学校運営に関するマネジメントの事例 インドネシア

地域教育開発支援調査(1999～2005)

地方教育行政改善計画(2004～2008)

背景

- 1997年の経済危機による就学率低下
- 地方分権化の中での教育行政のキャパシティデベロップメント

取組み

- 住民参加によるボトムアップアプローチによる教育開発のためのプロポーザルの作成と事業実施
- 住民参加: 校長、教員代表、保護者代表、生徒代表、地域住民代表による学校委員会の設立
- 事業内容: 現職教員研修、授業研究、教材開発・購入、学校・教室の環境改善(黒板、机、椅子、教室の修理、トイレ等)等

教育行政、学校運営に関するマネジメント—成果— インドネシア

地域教育開発支援調査(1999～2005)

地方教育行政改善計画(2004～2008)

成果

- 就学者数の増加
 - ドロップアウトの低下、欠席率の低下
 - 教育の質の向上
- ↑
- パイロット事業による教師の能力向上、教育環境の改善
 - パイロット事業実施を通じた親や地域の教育に対する関心、主体者意識の高まり
 - コミュニティと学校の関係強化
 - これらを通じた校長、教師のモチベーションの向上

ジェンダー格差是正 —アプローチ—

アプローチ

- 女子の就学を阻害する要因の調査と改善(教科書等におけるジェンダーバイアスの除去、女性教員の増員、女子に配慮した学校施設)
- 地域社会、家庭の女子教育阻害要因の調査と改善(啓発活動、学校と保護者のコミュニケーション強化)
- 女性のロールモデルの創造
- 成人女性への識字教育

課題別指針「基礎教育」

ジェンダー格差是正の事例

イエメンタイズ州女子教育向上計画

(2005～08)

目的

地方行政、学校、コミュニティが参画する基礎教育改善事業



学校、コミュニティ主体の女子教育促進の地方教育行政モデル
の開発

取組み

- 学校、親、コミュニティ参加による女子教育向上のためのプロポータル作成と事業実施
- 事業内容: 女子教員の雇用、教室の建設改修、女子トイレ、水タンク、母親向け識字教室、裁縫教室(母親、女子児童)、
- 啓発活動(セミナー、ラジオCM、女性・母親の参加促進)

ノンフォーマル教育支援 ー多様性ー

内容

- 識字教育(子ども、成人)
- 学校教育の代替としてのノンフォーマル教育
- 職業教育、生涯教育

課題別指針「ノンフォーマル教育」04年9月

<http://gwwweb.jica.go.jp/km/FSubject0101.nsf/50e70e491615c34a492571c7002a982d/5c8ec3146876415e49256fb2000dc9ab?OpenDocument>

「ノンフォーマル教育の拡充に向けて」05年5月

http://www.jica.go.jp/branch/ific/jigyo/report/field/200505_01.html

ノンフォーマル教育—事例— アフガニスタン識字教育強化

目的

- 700万人以上の非識字者への識字教室の実施と持続的な識字教室実施のための識字局の能力強化

内容

- 識字局の能力強化(データ管理、教材作成・配布、識字スーパーバイザーの能力強化、NGO等との連携)
- 識字教室の面的展開(1万人対象、識字局が計画策定、モニタリングを行い、実際の識字教室はNGO委託により実施)

協力隊と技術協力プロジェクトの 連携事例

ベトナム

技プロ: 現職教員研修モデルの開発

協力隊: 小学校での活動

バングラデシュ

技プロ: 教員養成校・モデル校の教員件数モデル、教材開発の開発

協力隊: 開発されたモデルのパイロット校での試行

ケニア中等理数科教育強化を中心とした広域協力

技プロ: 現職教員研修制度の確立

協力隊: 情報、方向性を共有

ホンジュラス算数指導力向上プロジェクトを中心とした広域協力

技プロ: 理数科教材開発、普及

協力隊: 小学校での活動に際し、教材を共有

協力隊と技術協力プロジェクトの 連携類型

- 両者が個別に活動しているケース
- 両者は独立して活動しているが、補完的な活動をしているケース
- 協力隊が技術協力プロジェクトの中に位置づけられているケース